

ながわ



那珂川町郷土史研究会

裂田溝33 吹上用水路周辺

裂田溝が針口の「板碓堰」を過ぎたところに、高さが15.5cmある三角形の土手が、田んぼを横切っているのを目にします。この土手は、「吹上用水路」と言われる人工水路です。那珂川南中学校の東側にある「平蔵池」が水源で、梶原運動広場の北側で平蔵川と合流し、さらに県道575号線の地下を通り、安德の針口で裂田溝に流れ込みます。この途中に「大塚水門(戸井水門)」があります。ここから取水した水は、西側の山裾を巡って裂田溝のそばにある「溜枧」へ流れ込みます。以前は山の斜面に沿って造られた素堀の水路であったため、たびたび土砂に埋り管理が大変でしたが、今は全面改修され、蓋付きの三面側溝に変わ

併せて「溜枧」の外柵も新しくなりました。「溜枧」の内部は2段構造になっており、水と一緒に流れ込んだ土砂は下段に溜まり、直接裂田溝に落ちます。上段に溜まった水は裂田溝の地下を横切って、対面の三角形の土手に吹き上げる仕組みになっています。

安德字「原田」の水田は高台にあるため、昔は梶原から水路を造り高い位置から石の懸樋で水を引いていましたが、車がその下を通るたびに積み荷が当たり、通行の妨げになっていました。そこで昭和54年、古老の提案で裂田溝と町道(現山田・松木線の地下)にパイプを埋め込み、それを通してサイホン式で水を上げるように改良されました。「戸井がかり」とも呼ばれ、この方式の水路は以前下梶原にもありましたが、現在ではここだけで使用される珍しい水路です。この水路は時々水不足に見舞われるため、平成5年にポンプ室が設置されました。水不足のときはポンプで地下水を汲み上げ、「吹上用水路」の水と一緒に田畑に送られており、今年も田植前の「荒水」を補うため、1回だけポンプが利用されました。役目を終えた「懸樋」のうち、一本は安德台に祀ってある「安德宮」の記念碑として利用され、他は公民館の庭に保管されています。安德宮の記念碑は懸樋の表面を削り作られ、そこには「安德宮新築記念碑・平成10年11月建立」と刻印され



ぎんぼぎ 川掃除(岸場切り)
田植前、農家総出で裂田溝の川掃除が行われます。昔から「岸場切り」と言われ、炭焼橋までの長い区間の草刈りは大変です。この日は、軽トラックやクレーン車も大活躍です。



在りし日の「戸井がかり」(現吹上用水路)
裂田溝と道路をまたぐ珍しい空中水路でした。



ふきあげようすいる 吹上用水路(サイホン式水路)
右、土手の溜枧から送られた水は、裂田溝と道路の地下を通り、対面の三角土手に吹き上げます。那珂川町で1カ所残る貴重な水路です。

大雨に裂田の溝どうしようと 濁水流れ下田に運ぶ

照子

台字は地元「西谷」の女性書家の筆と聞きました。 区の中に建つ「安德公民館」周辺は「安德原田遺跡群」の一角で、弥生時代から中世にかけての遺跡が見つかっています。このうち弥生時代のものは、中期の甕棺墓が一基、後期の溝が一条確認されています。また、明治31年には、このあたりで筑紫矛と言われる90cm程の「銅矛」が12本出土しています。これは、祭器として使用されたもので、1本だけが地元に残っています。この北側の田んぼには、糸里制の名残でしょうか、「八の坪」という小字名が残っています。この他安德の竹原には「猿田彦大神」と「お地蔵さま」が祀られています。

さて、今年も天候に恵まれ各地区で豊年の喜びの声が聞こえます。田植前、裂田溝の水利関係者7集落の役員が集まり、伏見神社の神前で「雨乞いの神事」が行われました。その甲

斐あつて心配された水不足や大雨の被害もなく、一面黄金色の稲穂路を散策する喜びを語り合いながら行き交う人々も笑顔いっぱい秋です。しかし、この半年間の水利に携わる人たちのご苦労は、大変だったと思います。なかでも安德区は水系が複雑で、田んぼの水路にも道路の信号機のような堰が幾つもあり、管理と見回りが欠かせません。特に針口にある「板碓堰」の管理はすぐ近くにお住まいの人が担当されていますが、裂田溝の中でも大きなこの堰の管理は大変で、下流域への配水調整はもろろんのこと、梅雨時期には夜中でも雨音に起こされて堰を見回るなど、重要な水管理の一切が任されています。各、受け持ちの堰守りさん、本当にご苦労さまです。私どもは敬意を込めて「堰守りさん」と呼び感謝の意を伝えます。 次号は炭焼橋周辺を紹介します。

- コースメモ
- 80. 取水口① (板碓堰) 巻上げ(沖溝線)
 - 81. 橋一作業用
 - 82. 橋一作業用
 - 83. 橋一溜枧への橋
 - 84. 橋一人家への橋
 - 次号へ 炭焼橋周辺

- 史跡メモ
- 大塚水門(戸井水門)
 - 吹上用水路(サイホン式水路)(戸井がかり)
 - 安德原田遺跡群 筒型器台(大溝出土)
 - 猿田彦大神(安德 竹原)
 - お地蔵様(安德 竹原)



溜枧への取水口 平蔵川(戸井水門)



お地蔵様(安德竹原)



筒型器台(安德原田遺跡群出土) 表面が赤く塗られています。(高さ約60cm)



猿田彦大神(安德竹原)



安德原田遺跡群